



「再生可能エネルギー関連産業の 振興に向けた共同研究会」

概 要



I S H I K A R I



A K I T A

はじめに 石狩市×秋田市が連携する理由

前提＝再生可能エネルギー関連産業の振興を施策の柱に掲げ先進的に取り組んでいる

○洋上風力発電事業

- ・国内で先行的に大規模洋上風力発電所の商業運転が開始している。
- ・今後、一般海域においても洋上風力発電事業が見込まれている。

○再生可能エネルギーの地産地活

- ・地域で生み出された再エネを地域で活用する「地産地活」を掲げている。
- ・再エネを100%供給する工業団地やデータセンターの誘致、水素供給サプライチェーンの構築などに取り組んでいる。

連携の意義＝両市の再生可能エネルギー関連産業の育成や集積、発展を効果的に進める

メリット① お互いのノウハウやリソースを生かした効率的・効果的な調査・研究が可能

メリット② 関連企業や教育機関などに対する訴求力の向上が図られる

人口減少の克服や地域経済の活性化という共通の目標をクリアし、
「国内最先端の新エネルギー産業都市」として成長していくことを目指す

研究テーマ案 1 浮体式も視野に入れた洋上風力サプライチェーンの構築

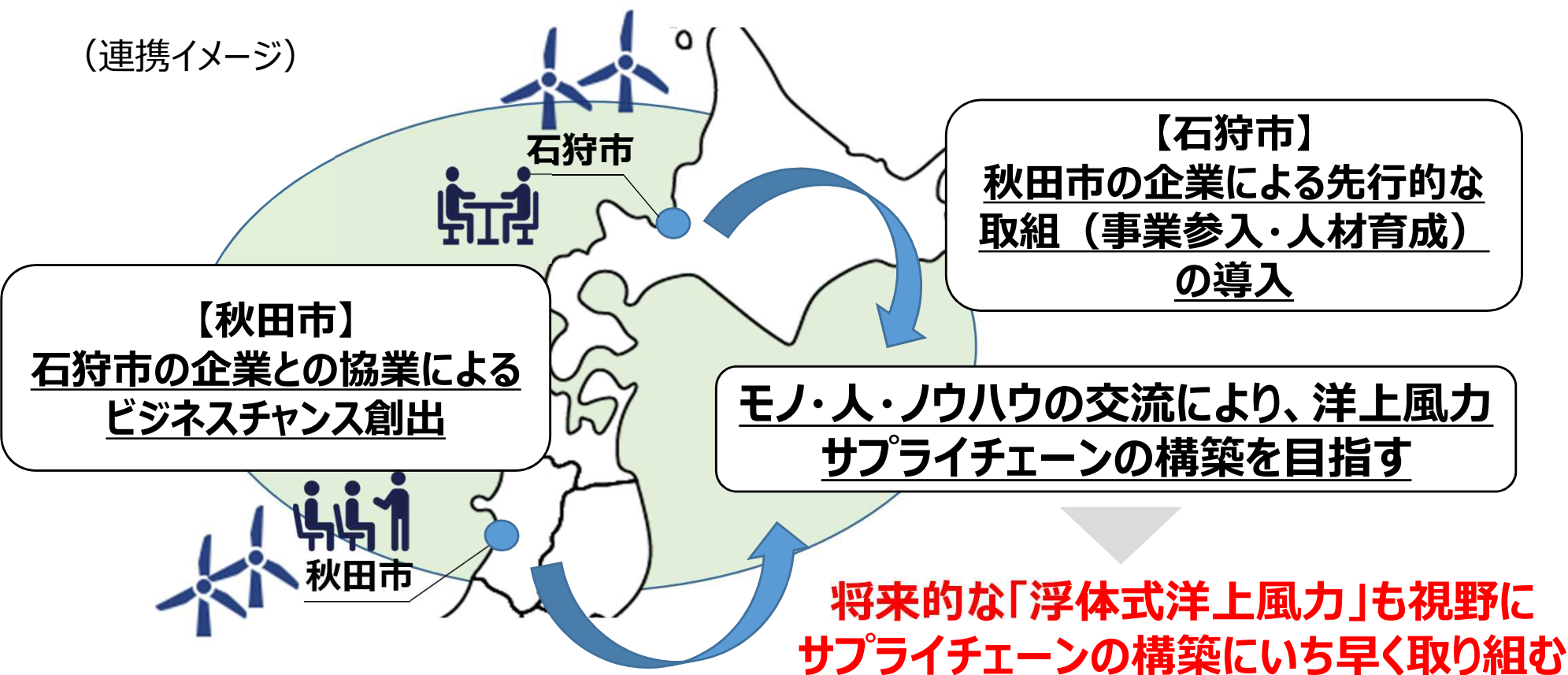
【背景】

- ✓ 両市ともに地元企業の洋上風力関連産業への参入を目指している。
- ✓ 地元企業の参入に向けて、設備投資や人材育成等への支援に取り組む必要がある。

【ねらい】

両市が持つリソースやノウハウなどを活用する協力体制を構築し、地元企業のビジネスチャンスの拡大と関連産業への参入促進を図る。

(連携イメージ)



研究テーマ案 2 再エネの「地産地活」に向けた電力需給モデルの検討

【背景】

- ✓ 企業活動の脱炭素化を図り、国内・グローバル市場での競争力確保を目指す企業が増加している。
- ✓ 電力多消費産業による再エネの地産地活は、企業誘致のみならず、インフラ整備コストの低減や出力抑制の防止など、効率的な電力運用にもつながる。

【ねらい】

誘致の対象となる電力多消費産業、供給手法などについて情報・意見交換し、効果的な産業振興モデルを確立する。

地元への再エネ供給方法の検討

効果的な再エネの供給に向けた検討 内容（案）

- ✓ 地域新電力の設立検討
- ✓ 両市間での電力融通の可能性の検討
- ✓ 再エネ電力の安定供給に向けた検討

再エネを活用した企業誘致活動

誘致のターゲットにする企業の例 （案）

- ✓ 電力需要が安定している
- ✓ 大規模な電力需要が見込まれる
- ✓ 製品・サービスに付加価値が付く

データセンターなどの電力多消費産業を地域の主力産業へ

研究テーマ案 3 産業ツーリズムの振興

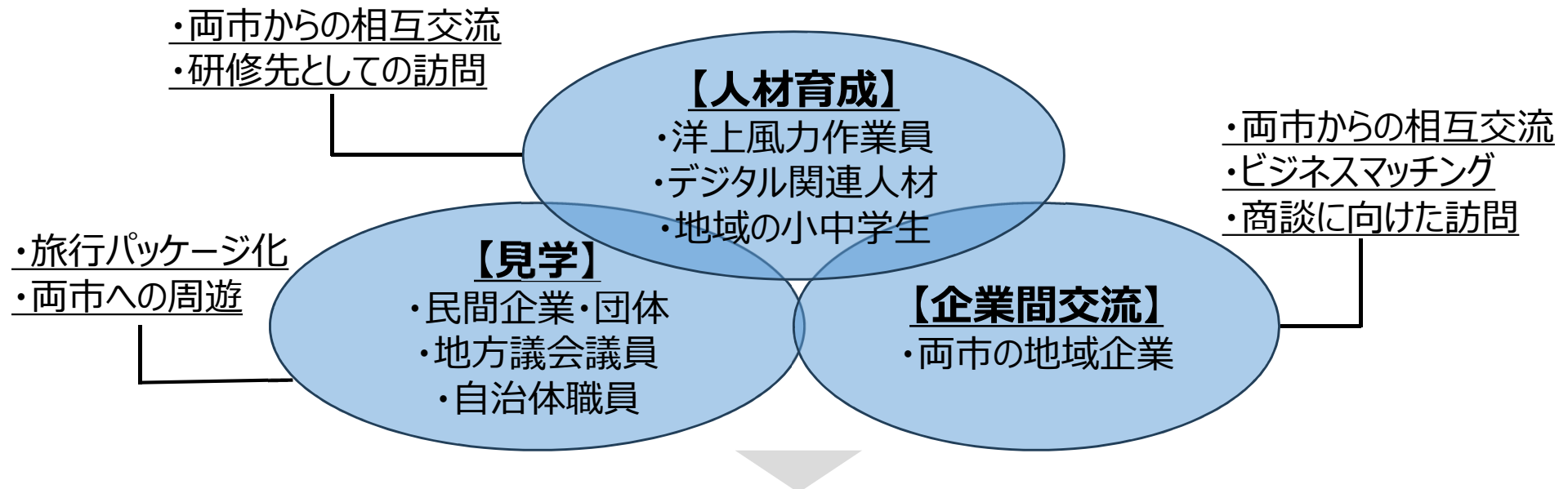
【背景】

- ✓ 両市では、洋上風力発電の見学需要が高まりつつある。
- ✓ 再生可能エネルギーの製造・活用に関連し、見学需要のみならず人材育成など関係人口の増加が想定される。

【ねらい】

- ✓ 旅行代理店との連携などにより、両市の産業的な周遊をパッケージ化する。
- ✓ 洋上風力発電など、関連産業に不可欠な人材育成を行うツアープランを検討する。
- ✓ 小中学生、高校生、大学生の相互交流による、地域産業への理解醸成を図る。

(産業ツーリズム需要のイメージ)



両市の連携による産業ツーリズムの振興と経済面での相乗効果の創出



I S H I K A R I



A K I T A

The Wind is blowing !